

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年5月8日

Nature:

WHOはCOVID-19の緊急事態終了を宣言

【松崎雑感】

私は、重体に陥った患者さんが、何とか回復の方向に改善したが、まだまだ安心できない、病状が悪化するかもしれないし、別な病気に襲われるかもしれないから、「おのおの方油断召さるるな」と言う「宣言」と解釈しました。

5月5日のコロナ情報でも示しましたが、最近に至っても、新型コロナは、インフルエンザの10倍の死亡リスクをもたらす疾患であり続けています。

「新型コロナは、ふつうの風邪の10倍以上危険な感染症だ」と言うのが私のスタンスです。

WHOはCOVID-19の緊急事態終了を宣言

Lenharo M. **WHO declares end to COVID-19's emergency phase**

[published online ahead of print, 2023 May 5]. **Nature**.

2023;10.1038/d41586-023-01559-z. doi:10.1038/d41586-023-01559-z

WHO事務総長は、パンデミックが「下降トレンド」にあるが、新たな変異株出現のおそれは続くと言明

WHOは事務総長は、5月5日に、COVID-19が国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）の状態を脱したと発表した。

テドロス氏は5月4日のWHOのCOVID-19対策緊急委員会の勧告を受けてこの声明を発表した。この委員会では、死亡と入院が減少中であり、高いレベルの集団免疫が形成されていることをPHEIC解除の理由として指摘した。

テドロス氏は記者会見で、COVID-19が引き続き世界的な健康に対する脅威であると強調し、PHEICが解除されたからと言って、対策を弱めるべきでないと述べた。「COVID-19に対する緊急対応モードから、COVID-19以外の感染症対策も同時進行させるモードに移行すべき時期である」と。

今回の声明には驚きの声は上がらなかった。1月の緊急対策委員会後、テドロス氏はCOVID-19が移行期にあるだろうと認識していた。

彼は記者会見で「今回の決定は様々なデータを慎重に分析して熟慮を重ねた結果出すことにした」と語った。

対応は具体的にどのように変わるか

PHEICは、世界全体に疾病が蔓延するおそれのある極めて憂慮される状態の時に発令される最高レベルの警告である。2020年1月30日に発令されたPHEICにより、世界の国々が感染数の報告が義務付けられた。

「PHEICにより、すべての国がCOVID-19への対応の必要性を周知させたことが重要だった」と南アフリカのCentre for the AIDS Programme of Researchの疫学専門家サリム・アブドゥル・カリム氏は語った。

この間700万人の死亡者がWHOに報告されたが、実際はこの2～3倍の死亡者が発生したと推計されている。

カリム氏は、PHEICを何時発令し、何時解除するかという厳密なルールはないと語った。

「われわれは当初のような膨大な死者と入院に見舞われるようなステージから抜け出してはいるが、引き続きパンデミックの渦中にあることを忘れてはいけない」と彼は述べた。カリム氏は、PHEICが終了したとしても、今後長期間COVID-19の流行が続くと理解している。

しかし、彼は、今回の決定がプラグマティックかつリーズナブルであると考えているが、今後COVID-19のための医療資源、検査、ワクチン、治療が十分に供給できるかどうかを懸念している。

ブラウン大学のパンデミックセンター長で疫学専門家ジェニファー・ヌッツォ氏は、すでに多くの国々がCOVID-19対策を緩和してしまっている現状があるため、今回の解除宣言が、具体的にどのような対策の変化をもたらすか不明だと考えている。「残念なことに、コロナパンデミックに対する政治的関心はずっと以前に消え去っている。COVID-19が最大の死亡原因であり続けても、各国政府は別の分野に資源を投入することを決めている」と。

ヌッツォ氏は、今回のWHOのPHEIC解除と各国の対策終了とは別物だと述べた。例えばアメリカでは5月11日にCOVID-19緊急事態が解除され、人々は無料で検査、ワクチン接種、治療を受けられなくなる。「こうなると、必要な人々に公平に検査と治療がゆきわたらなくなり、とても心配だ」とカリム氏は語った。

これからどうなるか

テドロス氏は、今後長期間にわたり、各国にどのようなCOVID-19対策を行うかを検討するレビュー委員会を設置すると述べた。

WHOは[From emergency response to long-term COVID-19 disease management: sustaining gains made during the COVID-19 pandemic \(who.int\)](https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/strategies-to-cope-with-covid-19) で、今後二年間のコロナ戦略をウェブで示すことにしている。

「各国が、今後ともCOVID-19の教訓から学び、将来のパンデミックへの準備を強化する対策を進めることが極めて重要だ」とヌッツォ氏は語っている。